

# 決算特別委員会

## 質疑

### 歳入 (町の収入)

ソフト小村の状況は

菅原委員

ソフト小村の現在の使用状況は。

商工観光課長

ソフト小村は6棟あるが、現在、5社が入っており、1棟が空いている。全体で22人が雇用されている。

利用頻度を高める方法は

菅原委員

情報関連の仕事

という制約を、若干緩和もしてきたようだが、現在は満室ではない。6次産業化など様々な形で利用できる方法、利用頻度を高めていく考えは。

商工観光課長

情報産業という基本はあるが、地産地消や研究開発、地域産業の推進という視点も追加してきた。6次産業化の拠点等についても、前向きに検討したい。

過疎債返済の影響は

奥山委員

過疎対策債の発行残高が合計で53億円となっている。返済による町民サービスへの影響は。

総務課長

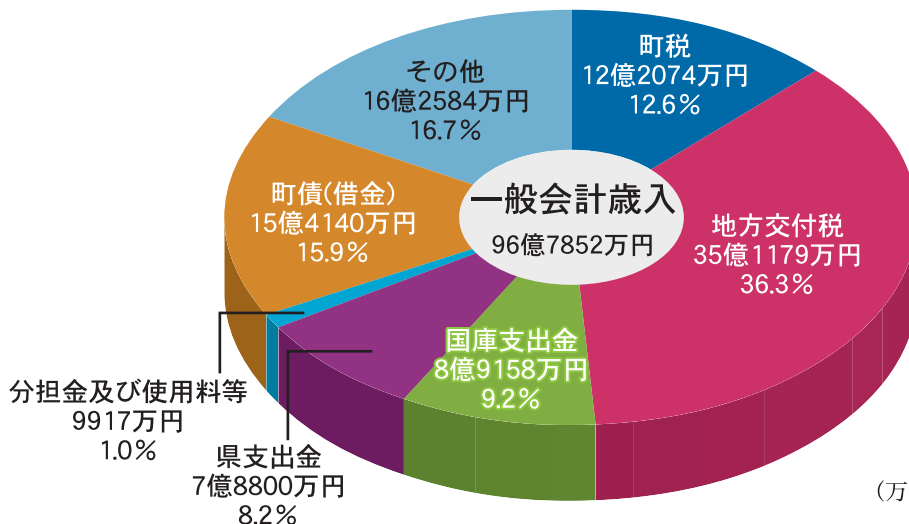
借金返済が多額になると、他事業への影響が懸念される状況になることもあるかと思う。

減債基金等を活用しながら対応していく時期も来るものと予測している。

将来負担をどのよう  
に賄っていくかも踏まえ、起債も利用しながら対応していく。



過疎対策事業債利用の、複合施設



(万円未満は端数調整しています)